

日時・場所	令和元年9月2日(月) 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、西村教育長、瀬川議会事務局長、竹中政策調整部長、吉川病院事務部長、小山総務部長、三上総務部政策監、田中市民部長、高橋健康福祉部長、赤坂健康福祉部政策監、野崎都市建設部長、遠藤環境経済部長、川端会計管理者、杉本教育部長、吉田政策調整部次長、北脇広報秘書課長、事務局(企画調整課)

1. 市長指示事項

- 政策や公共サービスは、市民ニーズにきちんと合ったものでないといけない。プレミアム付き商品券の手続きが始まっているが、当初から心配していたとおり、出足があまり良くない状態であり、期待は高くないようである。もちろん喜んでいらっしゃる方もいらっしゃると思うが、一方でなぜこんなことをするのかとの批判もある。他の事業についても市民のためになるよう真剣に考え、政策決定やサービス提供に取り組んでもらいたい。
- 報道もされているが、国スポのラグビー会場について、突然、私が不在だった先週木曜日にラグビー協会がマスコミを連れて文書を持って来られ、再要望をされた。市の返答を求められているので、近々返答する予定である。だが、冷静に考えると、野洲市は既に内定した2種目を開催するので、それ以上は人員が足りず体制が組めないと言っているのに、県は希望が丘文化公園が最善の施設であって、県内にはここしかないと言っており、論理がすれ違っている。体制が組めるという話を持って来てやって下さいと言うなら分かるが、会場がここしかないからやってくれ、これについてどう考えているのかとの趣旨であり、本当の問題点は何かを押さえて議論して解決に向かわないといけない。問題を棚上げして進めようとしてもだめである。その辺りも含めて回答する予定である。
施設の整備計画を確認すると、芝生広場を会場として仮設で整備する計画となっているが、今回の大会では手洗いや観客席は仮設もあるが、本会場を仮設で整備するというコンセプトはなかったはずである。また、現状は天然芝の球技場を人工芝にすることとされているが、ラグビー関係者も知らなかった。本当に誰が真剣に考えて取り組んでいるのかが重要であって、国も県もそのようになっていない。これを非難するのではなく、私たちのまちにもそういったことが起こり得るので、誰のために何をするのかを考え、誠実に取り組んでもらいたい。
- 昨日、今日と児童虐待の痛ましい報道があった。少なくとも野洲市内では発生していないと思っているが、これも真剣に誠実に取り組んでもらっている結果だと思う。市民にはその辺りがなかなか伝わらず、どこも同じだと思われるのが、今、その質が問われているので、児童虐待だけでなく、高齢者等についても、ごまかしのない良いサービスの提供に一層励んでもらいたい。

2. 議題

① 令和元年度無事故・無違反運動への参加について

無事故・無違反運動については、守山野洲安全運転管理者協会からの依頼に基づき実施するものであり、職員の交通安全意識啓発や交通事故抑止にもつながることから、野洲市管理者会から参加願う。

については、管理職の氏名・生年月日・性別・免許証番号・押印が必要になるため、9月11日(水)までに各部で取りまとめた上、人事課まで報告願う。

3. その他伝達事項

- 議会定例会について、本日12時が議案質疑の提出期限となっている。提出された質問を確認いただき、特に必要と思われるものについては市長レクを15時30分から行うので対応願う。本日中に確認できない案件がある場合は、明日は市長が東京へ出張されるため、秘書を通じて市長に確認願いたい。
(総務部)
→明日も9時30分までならレクが可能である。
- 議案質疑については本日正午が締め切りとなっているが、4日に追加提案となる監査請求に係る案件

については、当日に本会議場で提出されることとなった。(議会事務局)

- 先日提出された監査請求を受けて、病院事業の正当性を別の観点から検証することを検討していたが、これだけ透明性を保ってやっているのに敢えてやらなくて良いのではないかとの判断から、検証作業は行わないこととする。

4. 次回部長会議の予定

9月9日(月) 8時45分～ 庁議室